Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience

農林交流センター
人と技術を強くする

農林交流センターニュース

第495号 2017.9.26

発行：農林水産省農林水産技術会議事務局
筑波産学連携支援センター コーディネーション推進課
〒305-8601 茨城県つくば市観音台2-1-9 Tel.029-838-7136

第208回農林交流センターワークショップ 参加者募集（参加費無料）

コメ中無機ヒ素の簡易分析 11月30日(木)～12月1日(金)

◆◆◆ 開催趣旨 ◆◆◆

国際的な食品規格を策定する政府間機関であるコーデックス委員会において、2014年、2016年にそれぞれ精米中、玄米中無機ヒ素の国際基準値が決められました。国内基準はまだ設定されていませんが、コメ中無機ヒ素を低減する努力が求められています。低減のためにはまず実態を把握することが必要ですが、コメ中無機ヒ素の分析にはこれまで高価で特別な分析装置を用いる必要がありました。

本ワークショップでは市販の試薬、汎用機器を用いて安価・簡易にコメ中無機ヒ素を定量する技術を講義や実習を通じて習得していただきます。

▲簡易分析の実際

◆場　　所： 農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター
筑波農林研究交流センター 研修実験室（つくば市観音台２－１－９）

◆主　　催： 農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）

◆対　　象： 産学官の分析実務（予定）者や行政機関で規制・指導を行う者（分析経験の有無は不問）

◆用意する物： ノートＰＣ（用意できる場合のみ（※Mac不可、Windows7以上、要Excel））
興味のある玄米試料がある場合は、１０g程度（１試料まで）

◆募集人数： １０名

▲コメ粉末からの無機ヒ素の抽出

◆コーディネーター・講師◆

農研機構　農業環境変動研究センター 有害化学物質研究領域
環境化学物質分析ユニット　上級研究員　**馬場 浩司** 氏

講義と実習概要

◆講師（全講義・実演・実習）：馬場浩司（農研機構 農業環境変動研究センター）

11月30日（木）

13:00-13:05［挨拶］加藤　隆（農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センターコーディネーション推進課長）
13:05-13:45［講義］「分析原理、分析手順の解説」
13:45-14:45［実演］「講師による実演を交えた解説」
14:55-16:30［実習］「コメ抽出液の分析（練習）」
16:30-17:15［実習］「コメの粉砕、明日の分析の準備」

12月1日（金）

9:15-10:00［実習］「コメからの無機ヒ素の抽出」
10:00-12:00［実習］「PC、スキャナー、ソフトウェアの準備、設定」
13:00-15:00［実習］「コメ抽出液の分析」
15:10-16:00［実習］「画像解析・定量」
16:00-16:30［フリートーク］「全体の質疑応答含む」
16:30　閉会

▲コメ中無機ヒ素濃度に応じて呈色

◆◆◆ワークショップについてのお申し込み＆お問い合わせ先◆◆◆

申込方法：下記により１０月２７日(金)までにお申し込み下さい（必着）。

◆農林水産省関係の国立研究開発法人等に所属している方
「農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター」ホームページから
「申込書・アンケート」をダウンロードし、所属機関の窓口を通じてお申し込みください。

◆上記以外の方（大学・公立研究機関・民間企業等に所属している方）
「農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター」のホームページのお申し込みフォームからお申し込みください。

参加費無料

筑波産学連携支援センター

受講者決定：１１月８日頃、メールにてお知らせいたします。

お申し込み＆お問い合わせ先：農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター　コーディネーション推進課　鈴木・木暮（きぐれ）
Tel：029-838-7136　Fax：029-838-7204　E-mail：koryu7129@cc.affrc.go.jp

Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience